

■ VISTA 5 M2 ユーザーレポート

株式会社サガテレビ 様

VISTA 5 M2 - 32

stsサガテレビ

制作スタジオサブを VISTA 5 M2 で更新



株式会社サガテレビ
放送技術部
下村 真弘

弊社のL1サブ（制作サブ）では、月～金のベルトで情報系番組を生で行っているため、更新に当たっては、とにかく「生放送に適した卓」である事が第一の条件でした。

ストレスのない移行

これまではアナログ卓を使用しており、更新にあたり、「スタッフにストレスを与える事なくスムーズに移行できる」を目標に選択を行った結果、VISTA 5の選択となりました。VISTA 5はデスクの視認性が大変よく、コンソール上の表示画面が見やすく、瞬時に状態が分かりやすいです。これは全スタッフが気に入っている所でもあります。サイズもコンパクトで、これまでのアナログ卓と変

わらない範囲での操作ができ、今までの生放送で身に付いた動きと同じ感覚である事から、なんらストレスを感じずに移行することができました。

光 MADI の利点を有効に

局舎内ロビーや駐車場など、スタジオを飛び出している制作も多く、出来れば現場の音をその場でデジタル化し光MADIで送りたいと考え、ステージボックスでの運用ができることも条件としました。スチューダーのステージボックスは小型で使い勝手も良いものでした。特にアナログ時代に泣かされていたノイズの問題がほとんどなくなり、結果的にセッティング時間の短縮にもつながりました。また、ラック室の都合から、ラックの増設は2mラック1本だけとしたため、本体ラック部の小型化も要求した形となりましたが、VISTA 5はまったく問題ありませんでした。

高音質の確保

当たり前のことではありますが、高音質の確保も必須条件でした。決められた予算の中で最大限の高い音質を確保する事、そのためにいろいろと聞き比べてみましたが（特にマイクHA）、スタッフの評価が高かったのはVISTA 5でした。上位機種品質をそのまま受け継いでおり、満足できるものでした。

安定した卓・安心できる卓

とりわけデジタル卓の場合、安定した卓で安心して使える事も重要な条件でした。国産でない事に対する不安が無かった訳ではありませんが、これまでの出荷台数などを見ても評価できる事、我々からのハードルの高いサポート要請にも応えて頂いた事も、本当に安心して使える卓と感じた部分でした。実際、2011年12月の導入から1年近く経ちますが、トラブルらしいトラブルは起きていません。

これからが楽しみ

この卓を使い込むのはこれからです。「あれもやりたい！」「こんな事もやりたい！」と使い手が思えば、それを叶えてくれる卓、そんな気がしています。使う人間をこのような前向きな気持ちにさせるのも、スチューダーの長所だと思います。今後が楽しみな良い選択をしたと感じています。

